

低価格！ 簡単！ コンパクト！
光コネクタの光学特性測定のスチンダード

光コネクタ特性測定器 AR-10



光コネクタの必須検査である反射減衰量・挿入損失の評価を簡単にします。
たくさんの光コネクタを短時間で評価計測したい用途を重視した機能を多数搭載して、
お客様のコスト削減に貢献します。

1台でコネクタの反射減衰量と挿入損失を測定

光コネクタの反射減衰量測定、挿入損失測定に必要なデバイスが内蔵されており、1台で各測定項目の2波長（1310nm、1550nm）による同時測定が可能です。

ワンアクションで測定データをPCへ送信

ワンアクションで測定データをPCへ送信できるユニバーサルスイッチを標準添付しています。製造工程にあわせて、手押し、フットスイッチとしてのご利用が可能です。

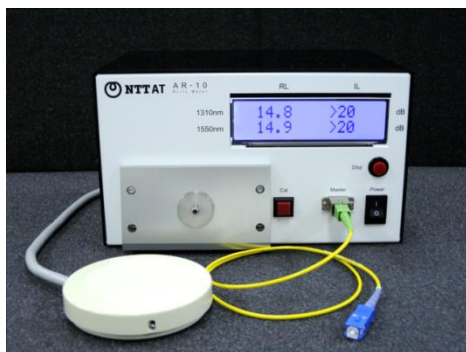
各種光コネクタに対応

SC、FC、MU、LCなど、代表的な光コネクタに対応しています。

製品仕様

測定項目	反射減衰量、挿入損失
測定波長	1310nm、1550nm
測定コネクタ	SC、FC、MU、LC および、各コネクタのAPCコネクタ ※1
適合光ファイバ	SM (9/125 μ m)
測定レンジ	~75dB (RL) , ~20dB (IL)
測定精度	RL \pm 0.5dB (\leq 60dB) ※2 IL \pm 0.05dB (\leq 5.00dB) , \pm 0.10dB (\leq 15.00dB) , \pm 0.20dB ※3
外部インターフェース	RS-232C (D-Sub9ピン)
電源	DC 9V
動作温度	0~40 $^{\circ}$ C

- ※1 測定の際には、各コネクタに対応したマスタコードが別途必要となります。
 ※2 ストレートPC研磨のマスタコードを使用し、校正後1分以内に測定した場合
 ※3 室温25 $^{\circ}$ Cの環境でマスタコードと同一種類のコネクタを校正後1分以内に測定した場合、本装置は光分岐結合器を用いた測定器のため、空間分解能を有しておりません。
 そのため、マスタコードとの接続点に加え、その後の光伝送路での反射及び、終端部での反射などが含まれて計測されます。



波長	Return Loss [dB]	Insertion Loss [dB]
1310	56.1	0.02
1550	56.1	0.02

- ※文中記載の会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。
 ※本カタログ記載の内容は予告なく変更されることがあります。

TEL: 0422-47-7701 E-mail: opt-inspection@ml.ntt-at.co.jp

お問い合わせ先

<http://keytech.ntt-at.co.jp/optic1>

※本カタログ記載の内容は予告なく変更することがあります。

201704A

NTTアドバンステクノロジー株式会社

グローバル事業本部 光プロダクツビジネスユニット

〒181-0013

東京都三鷹市下連雀3-35-1 ネオシティ三鷹ビル14F

